

C-68 動体計測に関する研究 (第1報) モアレ法による動態の一考察
嵯山女学園大家政 土井サチヨ ○中保淑子 富田明美

目的 生体の動作に伴なう体表変化の様相を観察し、動作適応衣服の設計に必要な動体計測の方法を見いだすことを目的として本研究に取り組んだ。

方法 被験者1名を任意に選び、モアレトポグラフィカメラ FM 80, 801 を用いて、生体の前後面、左右側面、左右前斜、左右後斜の8方向から撮影した。さらに、動作によって変化する様相を捉えるため、動態を同じく8方向から撮影した。この両者を比較して、体表の有機的変化の範囲を探ろうとし、上半身を図化して検討した。

結果

1. モアレ縞の様相および縞次数による深さ量の変化は、前面より後面の方が著しい。
2. 後面においての変化は、上肢挙動の状態により異なり、挙動方向の差異は大きい。